

～まちが人を育て、人がまちをつくる～

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動報告 vol. 5

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(匂坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 41歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有)匂坂量店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(中学1年)次女(小学1年)長男(保育園年中)

2010年3月28日に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員会委員長
現在、教育民生常任委員会委員、都市計画審議会委員 所属会派 市政クラブ

平成23年 第4回定例会報告

第4回定例会が11月29日～12月19日に行われました。今回の定例会では、補正予算が提出され、主なところでは、障害者自立支援法関連経費48,794,000円の増額、景気低迷などによる生活保護費支給事業の69,000,000円の増額等、厳しい財政状況の中、逗子市も高齢化が進み、福祉に掛かる経費の負担増がこれからも予想されます。その他の議案では、今年度よりすべての小学校区の学童保育が公設化になりました。それに伴い、放課後児童クラブ条例制定が議案上程し、承認されました。現在、景気低迷により共働きする家庭が増え、学童保育の充実が求められています。条例制定され、学童保育の更なる充実になればと考えます。そのほか条例の一部改正が6件、陳情が10件提出され審議されました。陳情では、放射線量の測定に関する案件が多く、小学校の給食や土壌の調査など、保護者が不安を感じているようです。現在、逗子市としても保護者の方々が安心できるように、現状を踏まえた最善な対応をして努力をしているところです。一般質問では、15人の議員が行い、私も市長、教育長に対して、地域経済活性化の振興策や災害対策の進捗状況、行財政改革基本方針の実施方策における実施計画の必要性について、学校教育では、キャリア教育についての課題など質問いたしました。



沼間小学校区地域連合会が発足 ～新たな市民自治システムの構築へ～

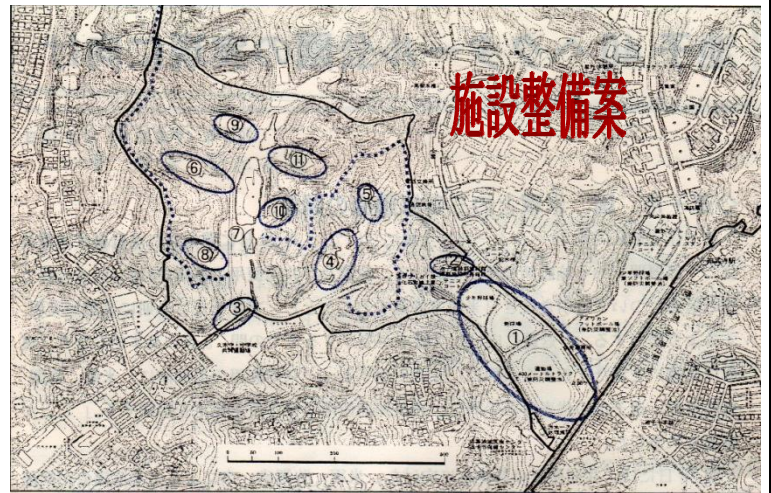
市長は所信表明において、新たな市民自治システムの構築するために、学校支援地域本部や避難所運営委員会、自治会・町内会、子ども会などが横に連携し、小学校区を単位とした地域組織を設立し、その組織に権限と財源を付与するなど、地域の自治権を拡大して地域の多面的な課題に自発的に取り組む、真の市民自治を目指すとしています。「地域コミュニティの再生」がまちづくりの最大のテーマだと市長は述べており、昨年5月に発足した、沼間小学校区地域連合会をモデルケースとして、逗子市まちづくり計画に盛り込まれた「ふれあい活動圏」に基づく地域づくりを具体化するものです。基本的には、自治会・町内会が核となり、地域団体(青少年育成推進の会・子ども会・体育会・老人会・氏子会等)が協力し、地域の課題を解決していく、すなわち「自分たちの地域は自分たちでつくる」地域分権であります。逗子市でも少子高齢化が進み、共働き世帯や核家族化の進行など世帯構造が変化する中で、これまでの地域のつながりが希薄化し、一人暮らしのお年寄りの安否確認ができないなどの新たな地域課題が生まれています。自分たちのまちに愛着や誇りの持てる、暮らしやすいまちをつくるためにも、住民が地域に係わりを持つことが大切だと考えます。私も東日本大震災以降、人と人との支えあい、つながりなどの大切さを改めて実感しております。今後、立ち上がった地域連合会に「権限と財源を付与し、地域分権を進める」ためにどのように具体的に進めていくか課題がたくさんありますが、地域住民、地域団体で協力して知恵を出し合い、進めていけるよう期待をしています。

「逗子市の学校教育」 キャリア教育の更なる充実を

第4回定例会の一般質問において、逗子市のキャリア教育について質問を致しました。私は、キャリア教育が学習意欲の高揚、学力向上の大きな役割を持つ重要なことだと考えます。市教育委員会では、文部科学省が打ち出したキャリア教育に関する方針を踏まえ、子どもたちの勤労観や社会性を養い、将来の職業や生き方について自覚するよう、関係機関の協力を得て取り組んでいきます。子どもたちそれぞれの発達段階に応じて、学校・家庭・地域などが協働してキャリア教育を進めていきます。小学校では将来の生き方や職業への夢や期待を膨らませ、将来への明るい展望や自己の可能性への期待を広げることも含まれています。中学校では、すでに地域・保護者による講師を活用した授業、さらに地域での職業体験活動の実施などに取り組んでいます。現状は、小学校でのキャリア教育がまだ確立されていないことと、小中の連携が図られていないことです。平成23年1月に国の中央教育審議会は答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方」を公表しました。また、2月には「キャリア教育の更なる充実のために」～期待される教育委員会の役割～が文科省の国立教育政策研究所から発行されています。キャリア教育の新たな定義として、「一人一人の社会性・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」としています。小学校・中学校においては、児童生徒がそれぞれの発達の段階におけるキャリア発達の課題を達成することができるよう、学校の教育活動全体を通じて、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度の育成に計画的、組織的に取り組むことが期待されています。各学校が児童生徒一人一人の発達の状況を的確に把握し、それに対するきめ細やかな支援を行うために、児童生徒のキャリア発達に対する情報を次の学年や学校に確実に引き継いでいけるようにすることが重要だと考えます。私の一般質問の答弁で教育長からキャリア教育の小・中学校一貫計画については、今後の検討課題として、文科省の手引を参考にしていきたいと述べています。今後のキャリア教育の更なる充実のために市教育委員会の積極的なリードと各学校の特色を活かして進めていただきたい。

池子40ヘクタール共同使用 公園としての利用方針を決定

池子住宅地区内約40ヘクタールの土地の共同使用について、11月29日、財務省関東財務局が公園敷地としての利用方針を決定しました。国有財産法は、「地方公共団体が国有地を公園敷地として使用する場合には、無償で貸し付けることができる」となっており、今回の決定によって、市が無償での貸し付けをうけられるという目的が立ちました。市は、平成26年度中の開園を目標に、市の管理の下、市民が自由に楽しめる公園として利用できるよう、国、米軍に強く要請していきます。公園整備にあたっては、市民の皆様からの意見が反映できるように進めていきたいと考えます。



- ①運動施設
- ②池子遺跡群資料館兼公園管理棟
- ③公共施設
- ④子ども遊び広場
- ⑤ドッグラン
- ⑥～⑩キャンプ場(⑥は他の使用有)
- ⑦広場
- …ハイキングコース

**皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。**

御名前

御住所

連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。